

本市の教育
ビジョンについて

北原 裕子 議員



一般質問



齋藤 藤男 議員



市の財政政策について

質問…課題とされている学区

再編や学校の統合ですが、今のままだとどのようなことが懸念されるのか、また、今後具体的にどのように学校再編計画を進めていくのか本市の考えを伺います。

答弁…大田原市の子供たちの人数の減少が大きく、今後さらに減少が加速していくということ

ろです。子供たちの人数が減ることによって適正な教育環境を維持することが非常に難しいと思っています。今回広報を使っ

て今後の子供たちの人数の推移についてお示しました。それらを基に、その地域の方、あるいは保護者の方から、子供たちのような学校の教育の在り方が望ましいのか、どのような人数

の子供たちがいれば教育環境が適正に維持されるのかというこ

とについて、ご意見をいただきたいと思っています。教育委員会の中である程度検討をし、その後、地域の方も入れて検討委員会を立ち上げ、丁寧に各地域に説明し、ご意見をいただきながら進めていきたいと考えています。

質問…大田原を活性化し、移住

者を増やし県北一のまちを目指すならば、国や県からのお金を活用し、市中にお金を回す政策が求められています。令和5年度の決算で基金に繰り入れた額、お金を使い残した不用額、そして繰越額を伺います。

答弁…財政調整基金約5億円、減債基金9700万円、公共施設等整備基金約10億円、土地開

発基金1000万円、不用額は一般会計15億9000万円、実質収支繰越額14億9150万7000円です。

質問…広報おおたわらでは、今

後も徹底した歳入確保と歳出削減に取り組むと宣言されています。今必要な財政政策は、市民生活が向上し、人々が流入してきてまちが活性化し、自然とお金が経済活動により増えていく

状態をつくることだと思います。そのために国や県の補助事業を最大限に活用して、お金を大田原市に持つてくることで市は活性化していくと思いますが、市の考えを伺います。

答弁…5年度の決算ベースですと臨時的な経費だけでも、国、県支出金と地方債制度を利用して130億円の財源調達をしています。